

4.海図の改訂とEEZの拡大

火山活動によって面積が拡大した西之島の変遷を、写真やパネル、海図でご紹介いたします。1973年と2013年の二度にわたる海底火山による新島出現と旧島との結合の様子が、2017年までに刊行された5枚の海図で読み取れます。2019年には西之島の海図がおおよそ2年ぶりに改訂され、領海及びEEZが拡大しました。



溶岩



西之島の溶岩

主な追加展示品のご紹介

リバイバル開催に合わせて、航海や海図の作製に必要な測量器具をはじめ、貴重な資料を追加展示いたします。



1



2



3



秘密海図

地図帳形式の本図は、軍港や艦船の避泊錨地の海図64図を集めて製本したものです。海軍部内で閲覧するために特別に作製したものと思われます。海上保安庁海洋情報部以外に原本の所有が確認されていないため、大変貴重な資料です。

1: 星球儀

星の位置を確認するための道具です。GPSなどが発達する以前、周囲に目標物のない海上での位置測定は、天体観測により行っていました。

2: 六分儀

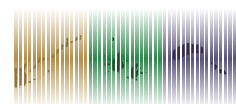
2地点の間の角度を測る携帯用の機器です。航海者が船の上で天体の角度を測定したり、海岸の二つの目標の夾角を測定して自船の位置を求めたりするときに使用します。

3: 三杆分度儀

六分儀などを使って測った二つの角度を利用して図上に海上の位置を記入する器具です。

領土・主権展示館企画展パンフレット「リバイバル開催！海図の発展とEEZ」

〔展示期間〕2020年10月27日(火)～12月6日(日) 〔場所〕領土・主権展示館2F多目的コーナー 〔発行〕領土・主権展示館



領土・主権展示館
NATIONAL MUSEUM OF
TERRITORY AND SOVEREIGNTY

Twitter @ryodoshuken

Twitterを始めました。



〔所在地〕東京都千代田区霞が関3-8-1 虎の門三井ビルディング1階 〔電話番号〕03-6257-3715 〔ホームページ〕<https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan>

1856年ドイツで作製された世界地図(海上保安庁所蔵)

領土・主権展示館 企画展



1513年にピリー・レイスが作製した地図【複製】(海上保安庁所蔵)

之石國陸
圖港釜中

KAMAI-SHI BAY
OF
RI-KU-CHU

陸中國金石港之圖
(海上保安庁所蔵)



日本の海図の創始者 柳 檣悦(やなぎならよし)
出典「水路部沿革史」(海上保安庁所蔵)

リバイバル開催※！

海図の発展とEEZ

測量器具など貴重な資料を追加展示！

開国以降、諸外国を模範として発展してきた日本の海図の変遷と排他的経済水域等の根拠とは

※ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、会期中で中止となった企画展を再度開催いたします。

ごあいさつ

このたびは、企画展「海図の発展とEEZ」にお越しいただき、誠にありがとうございます。

開国以降、我が国の海図は、イギリスなどの諸外国を模範として発展してきました。本展では、我が国において本格的な海図が作製された明治期以降の海図の変遷を解説するとともに、メルカトル図法で知られるゲラドゥス・メルカトル作成の世界図など珍しい海外版海図における日本の位置づけ等をご覧いただきながら、国連海洋法条約に規定されている排他的経済水域(EEZ)等の根拠となる正確な海図の必要性についてご紹介します。

本企画展は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、わずか9日間で中止となった企画展を皆様のご要望にお答えし、再度開催するものです。

再度の開催にあたり、GPSなどが発達する以前、周囲に目標物のない海上での位置測定に使用した星球儀などといった測量器具や、今なお火山噴火に伴い拡大を続ける西之島から回収した溶岩等、貴重な現物資料を追加展示いたします。

普段あまり目にすることのない海図の世界を、どうぞこゆっくりに楽しみください。

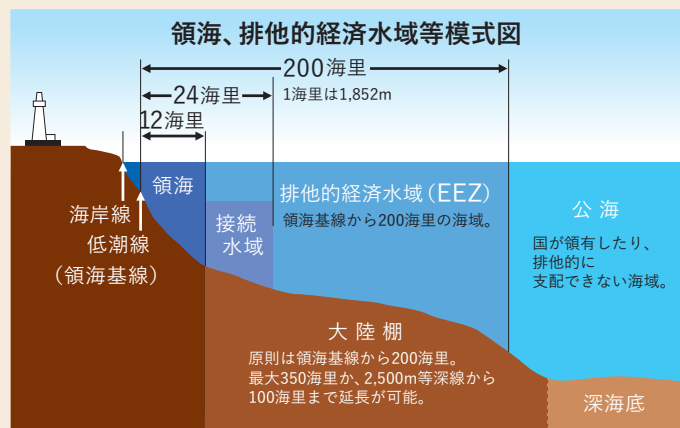
1.海図の役割

海図には、航海用海図や海底地形図、海洋地質図等の種類がありますが、通常海図とは、海上保安庁が刊行する「航海用海図」を指します。

航海用海図は、船舶が安全かつ経済的に航海できるように、水深・底質・暗礁等の水路の状況、沿岸の地形、航路標識、自然・人工の目標等、その他航行・停泊に必要な事項を、正確に見やすく表現した主題図です。

海図は一方で、領海や排他的経済水域等の根拠という国の主権を規定する地図でもあります。国連海洋法条約は、領海・EEZのはじまりの地点として、通常、「基線は、沿岸国が公認する大縮尺海図に記載されている海岸の低潮線とする」としています(低潮線とは、海面が最も低いときの陸地と水面の境界線です)。また、同条約は沿岸国が設定した領海・EEZ、大陸棚などの範囲を海図に記載して公表し、国連事務総長に寄託することを規定しています。

国連海洋法条約における各種海域



海上保安庁作成の図を加工して作成

2.日本の海図の歴史的変遷

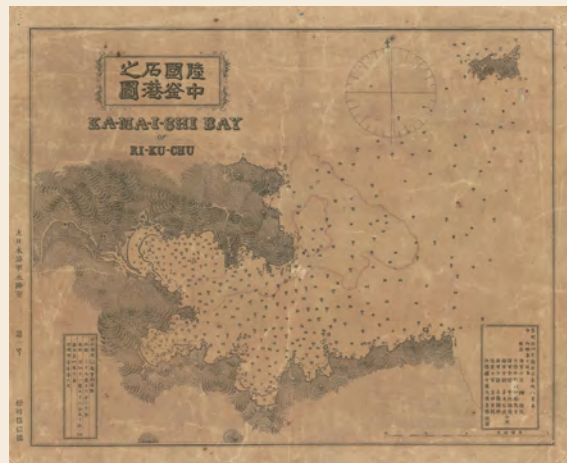
日本における海図作製の変遷

日本では、安土桃山時代から鎖国前の江戸時代初期に海図が用いられていましたが、諸外国と肩を並べる近代的な海図の完成は明治期を迎えてからのことになります。

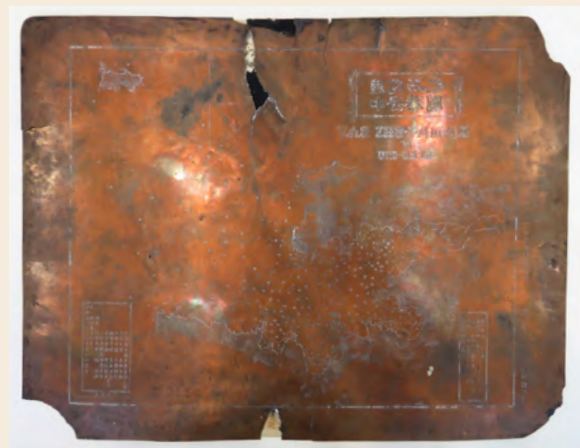


日本海図の創始者 柳 檣悦

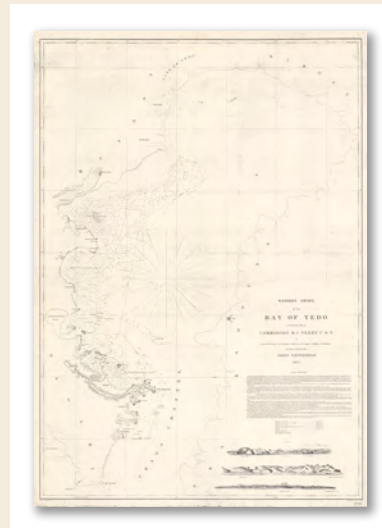
近代国家の黎明期、わが国独自の力で港湾等の測量を行うことを第一に、全国の海図作製に率先して心血を注ぎました。その多大な功績から、「水路測量の父」「海の伊能忠敬」と称されています。



本格的な日本の海図第1号「陸中國釜石港之圖」
1872(明治5)年、海上保安庁海洋情報部所蔵



銅板(海図第1号陸中釜石港之圖)



諸外国による日本沿岸の測量

日本の存在を知った諸外国は争って日本の沿岸に来航し、測量を行って諸港の港泊図を作製しました。

BAY OF YEDO

1853(嘉永6)年、ペリー提督は外輪式フリゲート蒸気船「サスケハナ号」を旗艦とした4隻の軍艦を率いて江戸湾浦賀(横須賀市浦賀)に来航しました。こちらはペリー提督が来日した際に測量した成果を基にアメリカで出版された海図です。

1908年作製の竹島実測図、尖閣諸島付近の海図も展示いたします。

3.海外版海図と日本

本展では、3枚の海外版海図をご紹介します。当時の世界から日本はどのように見られていたのでしょうか。



1



2

1: オスマントルコの提督 ピーリー・レイス作製の地図 (1513年)

現存するアメリカ大陸を描いた最古の地図と言われています。

2: 16世紀の地理学者メルカトル 作製の世界地図(1569年) (※写真は日本周辺)

メルカトルの名を不朽ならしめた世界図です。



3: ドイツ作製世界地図(1856年)

ヨーロッパで作成されましたが、日本が真ん中に描かれています。

3